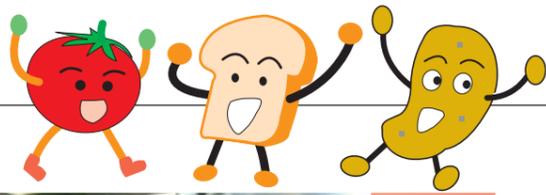


食べることは、すべてのみなもと



# 食

食 ~しよくいく~ 育

八の膳

## 米は、総社産を100%使用

給食の地産地消



総社東学校給食共同調理場の調理場。この日の献立の一つ、さといもごはんを作るため、総社産の米 250 kg を使用。10 kg ずつ袋から取り出して洗い、回転釜 6 台を使って炊く。月 2 日程度ある炊き込みごはんは調理場で炊き、それ以外は業者に炊飯を委託している

### 旬のもの

たき火の残り火で焼きもをする。香ばしいにおいと、ほくほく感が食欲をそそる



焼いも

市では、学校給食の食材に市内で生産されたものを使おうと、地産地消に努めています。

総社市の場合、米をはじめ、ニンジン、タマネギ、ズッキーニ、さびみどり、赤米、ピオーネなどの食材です。

米は、年間を通じて100%総社産のものを使用しています。しかし、それ以外の食材は、一度に多くの量を必要とするため、収穫時期に必要な量が確保できるときに使用しています。

ごはんは、3日に2回のペースで献立に登場。赤米を使って、ほんのりとピンク色をしたごはんにするのもあります。さびみどりは短冊に切り、油で揚げて食べます。

タマネギ、ニンジン、ジャガイモなどの根菜は、学校給食でよく使われる食材です。色目もよくなることから、ニンジンのはほぼ毎日使用。1日あたり約7000人分の学校給食が作られており、ニンジンは1か月で約2・5tも使います。

郷土の食材を知ることが、食の楽しさを実感するきっかけにもなります。



◎割り箸の使用は控え、マイ箸を使うようにしましょう。

## 男女共同参画の推進役

～総社市ネットワーク“波”の活動～

11月は岡山県男女共同参画推進月間です。今年も、11月25日に市民会館で開催される男女共同参画地域フォーラムや、11月9日から30日まで市役所ロビーで開催されるおなじみの「総てがみ展」など、いろいろな行事や啓発活動が行われます。

その活動の中心となっているのが、「総社市ネットワーク“波”の皆さんです。総社市が、庁内に女性政策担当を設けて、女性の社会参画の推進と地位の向上を目指す取り組みを開始したのは、平成10年のことでした。総社市ネットワーク“波”の結成はその前年、平成9年5月です。

以来、市内のさまざまな女性団体が一体となって、女性の立場から社会のあらゆる分野に男女が平等に参画できるよう、講演会やシンポジウムなどを通して啓発・普及活動を進めてきました。また、平成12年には総社市女性議会を開催するなど、総社市

詳しいことは、人権・まちづくり推進課人権推進係（☎08253）まで



平成19年度絵てがみの最優秀賞に輝いた國府佳奈さん(金井戸)の作品

ネットワーク“波”は、総社市の男女共同参画の大きな推進役となってきました。そうした流れのなかで、平成14年の「男女共同参画プラン」、平成16年の「男女共同参画推進条例」の制定と「男女共同参画都市」宣言など、総社市の女性政策も大きく前進しています。

今後も、家庭、地域、職場などのあらゆる場面で、男女が認め合い支えあいながら、より良いパートナーシップを確立できる社会を目指して“波”の活動は続きます。

協働のまちづくり！  
現場から

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

### 市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び  
明るい家庭をぎざぎざしましょう。
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ